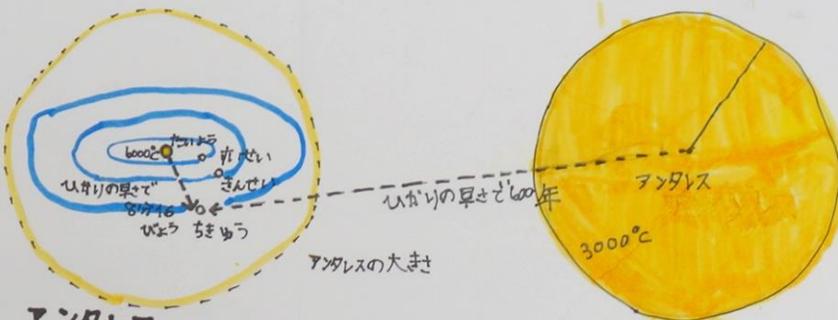


アフタースクールNJ校 (小学部 第2学年)

くぼた かのん
窪田 奏音くん 「夏のせいざ」

アフター2年
くぼ田奏音



あかい星 アンタレス

ひるま、まぶしくかがやくたいようのちかけりは、ちきゅうの110は"いもあります。さそりざにあるアンタレスは、すごくおおきな星で、ちかけりが、たいようの230は"いもあります。もし、アンタレスがたいようのいちにあるとしたら、ちきゅうのあるところまでこの星の中にすゝまろいはいしてしまふことになるでしょう。けれども、アンタレスがとてもとくにおくにあるので、たいようよりずっと小さくしかみえません。また、たいようのひらめんは6000ともあるので、しるくかがやいていますが、アンタレスのおん"いは3000とくらいなのであかみえます。それで、あかほしとがさけいほしというところがあります。たいようの光は、8分ほじががってちきゅうに"とぎまふところが、アンタレスはとてもとくにおくにあるので、その赤い光が"ちきゅうに"とぐくには、なんと600年もかかります。さそりざや、そのなかにあるあかほしアンタレスはこんなすばらしい夏の星のたいひやうです。

夏の星の大三かゝ形

あざしのせんにのびたせきたんのふくろがきえるあたりのあまの川の中に、青白く光っている星があります。その星がま"とく土をさかすと、もうひとつ白い星が天の川のまじりに見えるでしょう。この白い星からがさがたに、天の川のむこうきしにみると、もうひとつ、大きく光った星がみつかります。この三つの星をむすぶ形は、夏の大三かゝ形とよばれまふ。

